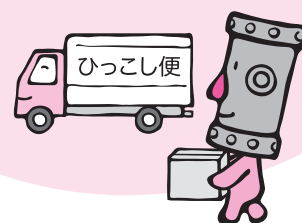




# 上下水道の広場

3月4月は転入・転出シーズンです。水道の使用中止や開始の手続きを忘れずにお願いします。大変混み合う時期ですので、引っ越しの一週間前までに手続きをお願いします。



## 電話で手続き



### ◆連絡先

上下水道局お客様センター

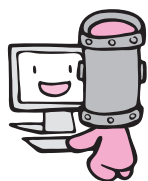
☎(023)8431

### ◆受付時間

平日の午前8時30分～午後5時15分

## インターネットで手続き

水道の使用中止や開始の手続きは、インターネットでもできます。詳しくは、上下水道局ホームページをご覧ください。



<http://www.city.akita.akita.jp/city/ws/>

## 使用を中止するとき

次のことをお知らせください。

- お客様番号(水道使用量・料金等のお知らせ)か「納入通知書兼領収書」に記載されています)

- 住所(アパート名と部屋番号も)
- 氏名(水道使用者名)
- 電話番号(携帯電話または引っ越し先)
- 引っ越し日(使用を中止する日)
- 引っ越し先の住所
- ご連絡いただいたかたの氏名

\*市内で引っ越しする場合は、引っ越し先の使用開始も同時に手続きできますので、忘れずをお願いします。

## 使用を開始するとき

次のことをお知らせください。

- 住所(アパート名と部屋番号も)
- 氏名(水道使用者名)
- 電話番号(携帯電話または引っ越し先)
- 引っ越し日(使用を開始する日)
- ご連絡いただいたかたの氏名

\*アパートや貸家などの玄関、ポストにある「口座振替申込書」でも届け出ができます。必要事項を書いて返信用封筒でお送りください。

\*入居したときに水が出るか確認してください。水抜き栓を操作しても水が出ない時は、上下水道局お客様センターへご連絡ください。

日本海中部地震  
発生時の秋田市内



## 災害に備えましょう

突然の地震は、水道・電気・ガスなどのライフラインに大きな被害を与えます。各ご家庭でも、日頃から地震への備えは万全にしておきましょう。

### 飲料水の確保

生命を維持するために必要な水の量は、1人1日3

リといわれています。地震により断水になった場合、応急給水態勢が整うまでは、各家庭で水を確保しなければなりません。食料と同じように、飲料水も最低3日分は確保しておきましょう。



### 水のくみ置き方法

清潔でフタのできる容器に、空気が残らないよう口元いっぱいまで水道水を入れま

す。しっかりとフタを閉め、直射日光の当たらない場所で保管してください。保管しておいた水道水は、消毒作用のある塩素が徐々に無くなりますので、3日に1回は入れ替えてください。フタを開けた場合は、その都度新しい水道水に入れ替えてください。古くなった水道水は、洗濯や掃除などにお使いください。



上下水道の広場は  
次のページに続きます



## 水道料金などのお支払いは 便利な口座振替で

水道料金や下水道使用料などのお支払いは、便利な口座振替をご利用ください。預金通帳と通帳印をお持ちになり、取り扱い金融機関、または上下水道局お客様センター（川尻みよし町14・8）へお申し込みください。

口座振替をご利用のかたは、2か月ごとの支払いを「毎月支払い」にすることができ、2か月ごとの「毎月支払い」をされているかたは、2回続けて振替ができなかったときは、このサービスを利用できなくなりますのでご注意ください。

## 口座振替を利用しているかたが 引越したときは

●市内での引越しの場合は、申し込みされると引越先でも同じ口座を継続してご利用できます。  
●引越に伴って振替口座を解約する場合は、金融機関かコンビニエンスストアで支払うことができる納入通知書をお送りします。

いずれも、引越しの手続きの際にお申し出ください。

## こんなときはご連絡を

- 届け出をしている水道の利用者や、共同住宅などの所有者が変わったとき
- 家屋の解体などで水道の使用を中止するとき
- 長期出張、旅行、入院などで長期間水道を使用しないとき
- 水道の使用を休止している住宅で一時的に使うとき

## 水道水以外の水を使用する 場合の下水道使用料など

井戸水や沢水など、水道水以外の水を使用し、その排水を公共下水道や農業集落排水、市が設置した浄化槽へ流す場合は、下水道使用料、農業集落排水施設使用料、個別排水処理施設使用料を負担していただくこととなります。そのため、水道水以外の水の使用を開始または中止する場合は、お客様センターへ必ず届け出てください。

また、現在、水道水以外の水を使用していて、まだ届け出をしていないかたは、お客様センターへご連絡ください。

上下水道局お客様センター

☎(023)8431

## お風呂の水も有効に

お風呂の残り湯は、災害時にさまざまな用途に利用できますので、すぐに流さず貯めておきましょう。消火用水、断水時のトイレの流し水としても利用できます。



なお、残り湯を貯めておく際は、フタをするなどの事故防止も忘れずに。

## 一番近い給水拠点の確認を

地震により断水した場合は、避難施設へ給水バッグなどで応急給水を行います。避難施設は、小・中学校、高校などですが、自宅から一番近い施設は、市民利便帳や秋田市ホームページ内の「防災コーナー」のページでご確認ください。

秋田市防災コーナー

<http://www.city.akita.akita.jp/city/gn/ds>

## 応急給水容器の準備

飲料水を確保するための清潔なポリ容器などを準備しておく、応急給水を受けるときに便利です。ポリ容器は、水が入ると意外に重く感じるものです。

持ち運ぶことを考えて、形や大きさなどを選びましょう。

